

# 日独首脳会談

2022年4月28日(木) 東京

in & out

岸田文雄総理大臣はオラフ・ショルツ独首相と首脳会談と夕食会を行った。ショルツ首相にとってアジア初の訪問国となった。両首脳は昨年の日独「2+2」の開催、独海軍の日本寄港などの安全保障面での関係深化を高く評価した。また、両首脳が参加する幅広い分野を対象にした政府間協議を新たに立ち上げ、来年の開催を目指すことを表明した。さらに、G7の議長国を今年と来年それぞれ務める両国としてウクライナ情勢に協力して対応していく旨を確認した。



共同記者会見に臨む岸田首相とショルツ首相（内閣広報室）

## 林外務大臣のカザフスタン、ウズベキスタン およびモンゴル訪問

4月28日(木)～5月2日(月) ヌルスルタン、タシケント、ウランバートル



林外相とモンゴル・バトツェエグ外相（林外相の左）。モンゴルの遊牧民と

林芳正外務大臣はカザフスタン、ウズベキスタン、モンゴルの3カ国を訪問した。外相会談に加え、大統領や首相を表敬し、林外相からウクライナ情勢に対して国際社会の連帯が求められている旨を働きかけたほか、北朝鮮の核・ミサイル問題などの国際的課題での協力の強化や経済分野など両国関係の推進で一致した。また、カザフスタンとウズベキスタンでは、自由で開かれた中央アジアの持続可能な発展に向けた協力を深化させることで一致した。モンゴルでは無償資金協力「人材育成奨学計画」に関する交換公文の署名を行った。今回の訪問は戦略的パートナーである3カ国との連携をさらに強化する機会となった。